

「国語科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話す事や話の中心に気を付けて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てていきます。
- (2) 相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章に書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てていきます。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てていきます。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

- 【関心・意欲・態度】** 国語に対する関心をもち、進んで話し合ったり読書の範囲を広げたりする力。
- 【話す・聞く能力】** 相手や目的に応じ、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする力。
- 【書く能力】** 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く力。
- 【読む能力】** 目的に応じ、場面の様子や人物の気持ちを読み取る力。
- 【言語についての知識・理解・技術】** 音声・文字・語句・文や文章・言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解する力。書写では文字の大きさ、配列、毛筆では点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字が正しく書ける力。

評価の仕方について



ノート・プリント・テスト・授業に臨む姿勢や発言などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

		4	5	6	7	8	9	10	
前期	単元・題材	水平線 こわれた千の楽器 図書館へ行こう 心の動きを伝えよう 漢字の読み方に気を付けよう	ヤドカリとイソギンチャク 案内係になろう 漢字事典の使い方を知ろう	走れ メモの取り方をくふうして聞こう ローマ字	みんなで新聞を作ろう 「ことわざブック」を作ろう 本は友達	ふしぎ よかったなあ 広告と説明書を読み比べよう 文の組み立てを考えよう わたしの考えたこと			
	書写	毛筆のしせい 毛筆で書こう 画の長さの間かく <羊>	画の方向 <麦>	筆順と字形 <左右>	天満書道祭 手紙やはがきでつたえよう (硬筆)		組み立て方 (左右の部分) <土地>		
後期	単元・題材	ごんぎつね ある人物になつたつもりで 文と文をつなぐ 言葉の働きを考えよう クラスで話し合おう	お願いやお礼の手紙を書こう くらしの中の和と洋文と文をつなぐ 文末の言い方に目を向けよう	同じ読み方の漢字に気をつけよう 世界一美しいぼくの村	言葉をつなげて 「百人一首」を声に出して読んでみよう	「ゆめのロボット」を作る 漢字を使って読みやすい文を書こう 報告します、みんなの生活 目的に合わせて書こう	木竜うるし(人形劇) 「言葉のタイムカプセル」を残そう		
	書写	組み立て方 (上下の部分) <竹笛>	「折れ・折り返し」 (ひらがな) <わた>	百人一首 横書き(硬筆)	書きぞめをしよう <美しい空>	まとめ <手話>	新聞をつくろう (硬筆)		

4 お家の方へ

- ・家庭学習として音読や漢字練習を出しますので、聞いたり見たりして励ましの声をかけてください。
- ・日記を書くことを課題としています。
家庭でも、会話を増やし、書くことのヒントになるようにしてください。
- ・学習で使うものは、教科書、漢字ドリル、漢字ノート、国語ノートです。

「社会科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 地域の産業や消費生活の様子，人々の健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし，地域社会の一員としての自覚をもてるようにします。
- (2) 地域の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし，地域社会に対する誇りと愛情を育てていきます。
- (3) 地域における社会的事象を観察，調査し，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，調べたことを表現するとともに，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てていきます。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【社会的事象への関心・意欲・態度】 地域の人々の営みについて意欲的に調べ，地域の一員としての自覚と地域への誇りと愛情をもとうとする力。

【社会的な思考・判断・表現】 地域社会から，問いを見出し，その特色や相互のつながりを考え，適切に判断する力。

【観察・資料活用の技能】 地域を観察，調査したり，地図などの資料を活用したりして，調べたことを工夫して表現する力。

【社会的事象についての知識・理解】 地域の産業や消費事項，生活の様子，人々の健康や安全を守る諸活動，地域の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解する力。

評価の仕方について

✿ ノート・プリント・テスト・授業に臨む姿勢や発言などで総合的に評価します。

3 年間の学習計画

	月	4	5	6	7	8	9	10
前期	月							
	単元・題材	けんこうな暮らしを守る (1) わたしたちの暮らしと水 (2) わたしたちの暮らしをささえるごみのしより						暮らしのうつりかわり (1) 古い道具と昔の暮らし
後期	月	10	11	12	1	2	3	
	単元・題材	暮らしのうつりかわり (2) 残したいもの，伝えたいもの 広島ひばくと伝えたいこと① (3) きょう土を開く			わたしたちの県の様子 (1) 広島県の様子 広島ひばくと伝えたいこと② (2) 特色ある地域の人々の暮らし (3) 世界とつながる広島県			

4 お家の方へ

- ・水道やごみの処理について，調べ学習を課題として出すことがあります。ご協力をお願いします。
- ・ニュースや新聞記事，地名についての会話を増やし，関心をもてるようにしてください。
- ・学習で使うものは，教科書，ノート，私たちの広島市，地図帳です。

「算数科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにしていきます。また、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにしていきます。
- (2) 面積の意味について理解し、簡単な平面図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの意味について理解できるようにしていきます。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、基本的な図形について理解を深めることができるようにします。
- (4) 数量やその関係を式やグラフを用いて表したり考察したりできるようにするとともに、目的に応じて依存関係を調べたり分類整理したりすることができるようにしていきます。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【関心・意欲・態度】 知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることの良さに気づき、進んで生活に生かそうとする力。

【数学的な考え方】 算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える力。

【数量や図形についての技能】 整数や小数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積を求めたり、図形を作図したり、数量の関係などを表したり調べたりする力。

【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の意味と表し方、面積の意味、基本的な図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解する力。

評価の仕方について

✿ ノート・プリント・テスト・授業に臨む姿勢や発言などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

		4	5	6	7	8	9	10
前期	月							
	単元・題材	折れ線グラフと表 折れ線グラフ 整理のしかた 角の大きさ 回転の角の大きさ	わり算の筆算 何十、何百のわり算 わり算の筆算 倍の計算 暗算	垂直・平行と四角形 直線の交わり方 直線のならび方 いろいろな四角形 対角線と四角形の特ちょう	そろばん	大きい数のしくみ 大きい数のしくみ 整数のしくみ かけ算	わり算の筆算(2) 何十でわる計算 2けたの数でわる筆算 わり算のせいしつ	
後期	月	10	11	12	1	2	3	
	単元・題材	がい数の表し方 およその数の表し方 がい数を使った計算 計算のきまり 計算のじゅんじょ 計算のきまり	面積 広さの表し方 長方形と正方形 の面積 大きな面積の単位	小数のしくみ 小数の表し方 小数のしくみ 小数のたし算と ひき算	小数のかけ算とわり算 小数のかけ算 小数のわり算 小数の倍 変わり方調べ	分数 分数の表し方 分数の大きさ 分数のたし算とひき算	直方体と立方体 直方体と立方体 面や辺の垂直・平行 位置の表し方 算数おもしろ旅行 4年の復習	

4 お家の方へ

・家庭学習では、計算ドリルやプリントなどでくり返し復習するようにしますので、励ましてください。

・学習で使うものは、教科書、ノート、計算ドリルです。定規や三角定規、コンパスも使いますので、筆箱に入れておいてください。

「理科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

(1) 身近に見られる動物の活動や植物の成長を季節と関係付けながら調べ、見出した問題を興味・関心をもって追求する活動を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と環境の関わりについての見方や考え方が養えるようにしていきます。

(2) 空気や水、物の状態の変化及び電気による現象を力、熱、電気の働きと関係付けながら調べ、見出した問題を興味・関心をもって追及したりものづくりをしたりする活動を通して、物の性質や働きについての見方や考え方が養えるようにしていきます。

(3) 月や星の位置の変化、空気中の水の変化の様子を時間や水の性質と関係付けながら調べ、見出した問題を興味・関心をもって追及する活動を通して、月や星の働き、水の変化についての見方や考え方が養えるようにします。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【自然現象への関心・意欲・態度】 自然に親しみ、意欲をもって自然の事物、現象を調べる活動を行い、自然を愛するとともに生活に生かそうとする力。

【科学的な思考・判断・表現】 自然現象の変化とその要因の関わりに問題を見出し、変化と関係する要因をとらえ、問題を解決しようとする力。

【観察・実験の技能】 簡単な器具や材料を見付けたり、使ったり、作ったりして観察、実験や物づくりを行い、その過程や結果を分かりやすく表現する力。

【自然現象についての知識・理解】 動物の活動や植物の成長の仕方は環境条件と関係があることや、空気、水、電気などには決まった性質や働きがあること、月や星の位置や水が変化していることなどを理解する力。

評価の仕方について



ノート・プリント・テスト・授業に臨む姿勢や発言などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

		月	4	5	6	7	8	9	10
前期	単元・題材	月	花や虫を見つけたよ	天気による気温の変化	電気のはたらき	夏と生き物	月と星の動き		
		単元・題材	季節と生き物 ヘチマ 鳥や虫	体のつくりと動き 体のつくり きん肉のはたらき	かん電池とモーター かん電池のつなぎ方 光電池	植物と動物 夏の星	月の動き 星の動き	とじこめた空気と水	
後期	単元・題材	月	10	11	12	1	2	3	
		単元・題材	秋と生き物 深まる秋と生き物 植物と動物	もののあたたまり方 金属・水・空気の あたたまり方	ものの温度と体積 空気・水・金属の 温度と体積	冬の星	冬と生き物 生き物の1年 植物と動物	水のすがた 水を冷やしたときの変化 水をあたためたときの変化 水のゆくえ 水がなくなったりへったりするわけ 冷たいものに水てきがつくわけ	ふたたび春が

4 お家の方へ

- ・ 自然現象や科学的な現象に興味をもつような会話を増やしてください。
- ・ 「空を見上げると」の学習では、星座や月を観察する課題を出しますので、一緒に観察してください。
- ・ 学習で使うものは、教科書、ノートです。

「音楽科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 楽しく音楽に関わり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
- (2) 基礎的な表現の能力を育て、音楽活動の楽しさに気付くようにします。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴けるようにします。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【音楽への関心・意欲・態度】 進んで音楽に関わり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする力。

【音楽表現の創意工夫】 音楽を形づくっている要素を聴きとり、その面白さを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもてる力。

【音楽表現の技能】 音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする力。

【鑑賞の能力】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴ける力。

評価の仕方について



音楽活動をしている様子の観察、演奏の聴取や感想文などで総合的に評価をしていきます。

3 年間の学習計画

	月	4	5	6	7	8	9	10
前期	月	にっぽんのうた みんなのうた		ひょうしとせんりつ		せんりつと音色		
	単元・題材	ひびけ歌声		にっぽんのうた みんなのうた		かけ合いと重なり 楽器名人		
後期	月	10	11	12	1	2	3	
	単元・題材	にっぽんのうた みんなのうた		日本のリズム・世界のリズム		えんそうのくふう 音のスケッチ		音楽のききどころ

4 お家の方へ

音楽の時間に扱う音は、声や楽器の音に限ってはいません。
生活の中にある音も学習の対象です。生活の中にある明るい・暗い音、長い・短い、不思議な音など様々な音があります。そんな音の違いに興味をもつことも大切な音楽活動の大切な力となります。

そのようなことをもとに、音を組み合わせる音楽をつくったりしながら、想像力あふれる音楽活動ができる子どもに育てていきたいと思っています。

また、日本の音楽についての学習も多く取り入れていきます。

「図画工作科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに興味をもつとともに、進んで表現する態度を育てていきます。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにします。
- (3) 自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともに、それらに対する感覚を高めるようにしていきます。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【造形への関心・意欲・態度】 自分の思いを表す体験を深めることに興味をもつことや、つくったものなどに関心をもって見るなど、進んで造形活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする力。

【発想や構想の能力】 見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする力。

【創造的な技能】 手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する力。

【鑑賞の能力】 自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもつ力。

評価の仕方について

✿ 作品や作品づくりに臨む姿勢、鑑賞の態度や感想などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

	月	4	5	6	7	8	9	10
前期	単元・題材	まぼろしの花 絵の具でゆめもよう 立ち上がれ！ねん土		わすれられないあの時 ゴー！ゴー！ドリームカー		トロトロ、カチコチ・ワールド	ほってすって見つけて (天満美術館)	
			つつんだアート ギコギコクリエイター		つなぐんぐん			
後期	単元・題材	天満美術館 光のさしこむ絵 からだでかんしょう		幸せを運ぶカード		コロコロコロガーレ		
			すみですみか ゆめのまちへようこそ		大すきな物語		おもしろアイデアボックス	

4 お家の方へ

- ・機会があれば、写生に出かけたり、美術館に行ったりする経験をさせてあげてください。
- ・参観日のときなどに、作品を鑑賞していただき、感想を言ってあげてください。
- ・工作に必要な材料を集める際には、ご協力をお願いします。
- ・学習に必要なものは、その都度、子どもたちに知らせます。

「体育科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 各種の運動について課題をもち、活動を工夫して運動を楽しくできるようにするとともに、その特性に応じた技能を身に付け、体力が養えるようにしていきます。
- (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意して最後まで努力する態度を育てていきます。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【運動や健康・安全への関心・意欲・態度】 進んで楽しく運動しようとする力。また、約束やきまりを守り、お互いに協力し、健康・安全に留意して運動しようとする力。

【運動や健康・安全についての思考・判断】 運動の特性に応じた課題をもち、活動の仕方を考え、工夫する力。

【運動の技能】 運動の特性に応じた技能を身に付ける力。

【健康・安全についての知識・理解】 身近な生活における健康・安全について、課題を解決するのに役立つ基礎的なことを理解しようとする力。

評価の仕方について

✿ 運動技能・きまりを守り、協力し合って活動する姿勢などを総合的に評価します。

保健では、自分の心や体の成長について、主体的に学習する態度や知識・理解などを総合的に判断します。

3 年間の学習計画

		4	5	6	7	8	9	10
前期	月							
	単元・題材	体ほぐしの運動 いろいろな動きづくり	表現 運動会に向けて かけっこ・リレー (保) 育ちゆく体とわたし	新体力テスト 浮く・泳ぐ運動				ソフトバレーボール 高とび
後期	月	10	11	12	1	2	3	
	単元・題材	ポートボール 鉄棒運動	跳び箱運動 マット運動	体ほぐしの運動 レッツダンス！ いろいろな動きづくり (保) 育ちゆく体とわたし		小型ハードル走 フラッグフットボール		

4 お家の方へ

- ・体力づくりのために、しっかり外遊びができるようにしてあげてください。
- ・健康な体をつくるために、食事・睡眠が十分とれるように気を付けてください。
- ・学習に必要なものは、体育着、赤白ぼうしです。
「水泳」では、水着、ぼうし、バスタオルが必要です。

「総合的な学習の時間」はこんな学習をします

1 学年の学習目標

- (1) 身近な事柄から課題を見付け、体験したり、調べ活動をしたりする中で、自ら学び、自ら考える力を育てていきます。
- (2) 問題解決を通して、学び方や考え方を身に付け、自己をふり返り、生活に生かす力を育てていきます。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【学習方法に関すること】 課題を決め、課題解決の方法を考え、分かりやすくまとめたり、表現したりする力。

【自分自身に関すること】 課題を解決する中で、自分の考えの変化に気付き、自分にできることを考え、行動に移す力。

【他者や社会とのかかわりに関すること】 体験活動を通して、友達と意見を交わしながら、協力して課題を解決する力。

評価の仕方について

✿ 課題に対する関心・意欲や、活動中の様子、成果物や発表での表現などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

	月	4	5	6	7	8	9	10
前期	単元・題材	情報教育 英語活動	(年間を通して)		平和学習	→		
	月	10	11	12	1	2	3	
後期	単元・題材	平和学習	→	2分の1成人式に向けて		卒業式に向けて		
	月	10	11	12	1	2	3	

4 お家の方へ

・情報教育では、文字入力をローマ字で行います。3年生で学習したローマ字を生かした学習ですので、しっかり覚えるように声かけをしてください。
また、ご家庭でコンピューターを使える環境にある場合には、積極的にローマ字入力をする機会を設けてください。

・2分の1成人式を行います。準備等で、ご協力をお願いします。

「道徳」はこんな学習をします

1 道徳教育は

- (1) 人間が本来もっている「よりよく生きたい」という願いや「よりよい生き方を求め実践する人間」の育成を目指し、その基盤となる道徳性を養う教育活動です。
- (2) 小学校では、人間としてよりよく生きるために、共通の心構えや行動の仕方を様々な体験や学習を通して学びます。基本的な生活習慣やルール・モラルの指導をしたり、自然体験活動やボランティア活動などの体験活動をしたりして、道徳性の育成を図っていきます。

※道徳性とは・・・

- ・人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものです。
- ・人間が人間として共によりよく生きていく上で最も大切にしなければならないものです。

2 道徳教育の評価

- 道徳教育における評価は、児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気付ける働きをもつものです。観察、質問紙、作文などを利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。
- 道徳の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。

3 道徳の時間は

- 教育活動全体を通して行う道徳教育の要となるのが道徳の時間です。
- 教師と児童と一緒に、いかに生きるべきかを「共に考え、学ぶ」時間です。
- 児童一人ひとりが主体的に道徳的価値の自覚を図り、道徳的実践力を身に付ける時間です。
- 教材は、「道徳副読本」「こころのノート」「視聴覚教材」などです。

※道徳の時間の基本的な指導過程を紹介します。

導入	児童の興味や関心を高める段階
展開	ねらいを達成するための中心となる段階 児童一人ひとりが道徳的価値の自覚を深める段階
終末	道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり温めたりして、 今後の発展につなぐ段階

4 4年生はこんな学習をします

1 自分自身に関すること

- ・自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。
- ・自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。
- ・正しいと判断したことは、勇気をもって行う。
- ・過ちは素直に改め、正直に明るいい心で元気よく生活する。
- ・自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。

2 他の人とのかかわりに関すること

- ・礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。
- ・相手のことを思いやり、進んで親切にする。
- ・友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
- ・生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。

3 自然や崇高なもののかかわりに関すること

- ・生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。
- ・自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。
- ・美しいものや気高いものに感動する心をもつ。

4 集団や社会とのかかわりに関すること

- ・約束や社会の決まりを守り、公德心をもつ。
- ・働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。
- ・父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。
- ・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。
- ・郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。
- ・我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。